

一般質問

白石
議員

○松浦市の公報と広報紙「市報まつうら」について

質 なぜ広報紙「市報まつうら」を発行しているのか。

政策企画課長 広報紙は、行政と住民、地域社会の接点となるもので、住民に対して必要な情報を伝える重要な役割があると考えます。

質 「こころ・からだ・満ちる・青のまち・松浦市」のタイトルが掲げられているが、だれの判断で決めたのか。

政策企画課長 3年から5年でリニューアルしており、昨年の5月に変更しました。

質 公報及び広報紙の掲載基準はあるのか。

政策企画課長 行政が行う事業に理解を求め、住民にとって必要な情報を十分に伝えるといった広報紙の役割を基本にしています。

質 非営利の民間企業である社会福祉協議会の寄付のお礼は、広告として掲載すべきではないか。

政策企画課長 社会福祉協議会は、市民の福祉の一翼を担って、さまざまな事業を行っておられるので、これまでどおりの対応としたい。

○地域医療の確保について

質 原子力災害、地震災害等では、医療機関も同様に被災するが、医療従事者、患者等の対応について医師会等との協議は行われているのか。

健康ほけん課長 長崎県医療計画及び松浦市医療計画で、それぞれの医療機関の役割が定められています。

質 (救急病院がない等) 地域医療に対する市民の皆さんの不満に、行政はどのように応えてきたのか。

健康ほけん課長 市内の松医会の皆様のご協力で、夜間輪番制により対応しています。

質 県の医療構想と佐世保県北医療圏の役割について伺いたい。

健康ほけん課長 県の医療構想には、医療の状況や将来の医療需要、機能ごとの必要病床など構想実現のための施策が定められています。佐世保県北医療圏は松浦市、佐世保市、平戸市、佐々町で構成されており、過剰病床地域となっていますが、佐世保市を除く地域は医療供給体制がかなり少ない状況です。

質 伊万里松浦病院の松浦進出の話をきっかけに、地域医療に関する関心が高まりました。休日当番医制、夜間救急医療など、市民の不安解消に、行政は答えてやらなければならぬと思います。市長のお考えは、市民が望む医療環境は、市内の医療機関で担っていただくことを期待しております。

一般質問

宮本
議員

○新松浦漁協の原発再稼働反対決議の対応について

質 新松浦漁協の再稼働反対の決議に対して、何故、漁協は反対の決議をされたのか、組合長さん始め、理事の皆さんのところに、市長自ら漁協に赴いて聞きに行かれたか。

漁協は玄海原発再稼働に関して、漁民全員にアンケート調査を実施しています。松浦市として漁協・漁民の心配やお手伝いをするべきではないですか。

防災課長 平成27年1月に、県漁連及び新松浦漁協の組合長等が来庁され、市長、防災課、水産課が同席させていただいた中で、漁連としての考え方、経過等、意見交換を行った経緯があります。

質 漁民が一番心配していることは、原発に万が一放射能漏れの事故が起きた場合、風評被害も含めて漁民の漁獲する魚、水産加工品も含めて、売れなくなった場合の補償等についてです。農産物も同じですが、九州電力が事故が起きないよう万全の対策を講じているといっても、100%事故が起きないという保証はない。その漁民の心配に、市はどのような対応

応をしているのですか。

防災課長 風評被害を含めた補償につきましても、国の審査会の中で調整した上で、国がしっかり対応する制度となっています。

○子ども議会の開催について

質 島根県の隠岐の島海士町は、6年生を対象に毎年9月から準備して2月に子ども議会を実施しています。松浦市も毎年、開催することを検討して下さい。

教育長 子ども議会の開催につきましては、校長会の意見も聞きながら検討を重ねてまいりました。教育効果等を踏まえた結果、小学生や中学生を議員とすることによって、さらなる郷土愛や主権者意識を持たせることに有効であり、児童生徒の主体的な活動を促進するためにも、これまで行ってきた児童生徒代表者会議の継続も大事であるという点を確認しているところです。

以上のことから、平成29年度は児童生徒代表者会議と生徒代表者会議、平成30年度は中学生による子ども議会、平成31年度は小学生による子ども議会を実施する方向で、4月に校長会と再度協議のうえ決定したいと考えております。

その他玄海原子力再稼働問題について、鷹島・福島の特長性と支所長の役割について及びふるさと納税について質問しました。